

IaaSベンダ間の競争が激しさを増す中、中堅・中小企業におけるクラウドへの遷移はどこまで進んでいるのか？

## 2015年版 中堅・中小企業におけるサーバ/IaaS選定の実態と展望レポート案内

本ドキュメントは「調査対象」「設問項目」および「試読版」を掲載した調査レポートご紹介資料です。

調査対象ユーザ企業属性:	「どんな規模や業種の企業が対象かを知りたい」⇒	1ページ
設問項目:	「どんな内容を尋ねた調査結果なのかを知りたい」⇒	2～5ページ
本レポートの試読版:	「調査レポートの内容を試し読みしてみたい」⇒	6～9ページ

## [調査レポートで得られるメリット]

1. 年商/業種/従業員数/地域といった様々な観点で市場動向を把握することができます。
2. 収録されているデータをカタログや販促資料などに引用/転載いただくことができます。

## 調査対象ユーザ企業属性

有効サンプル数: 536社(有効回答件数)

**年商区分:** 5億円未満 / 5億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～300億円未満 / 300億円以上～500億円未満

**職責区分:** 以下のいずれかの職責を持ち、サーバの導入/管理における意思決定または実作業に関わる社員

- ・企業の経営に関わる立場であり、IT関連投資の決裁を下す立場
- ・企業の経営に関わる立場であるが、IT関連投資の決裁には直接関わらない立場
- ・ITの導入/選定/運用作業に関わり、社内の経営層に対する提案も行う立場
- ・ITの導入/選定/運用作業に関わるが、社内の経営層に対する提案は行わない立場

**従業員数区分:** 20人未満 / 20人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1000人未満 / 1000人以上～3000人未満 / 3000人以上～5000人未満 / 5000人以上

**業種区分:** 組立製造業 / 加工製造業 / 流通業(運輸業) / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / IT関連サービス業 / サービス業(IT以外) / その他

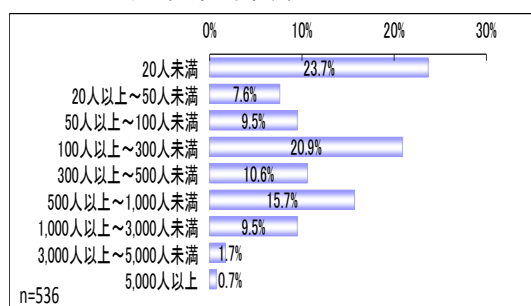
**所在区分:** 北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方

**IT管理人員体制区分:** IT管理/運用を担当する社員は兼任と専任のいずれか、それぞれの場合の人員数はどれくらいか？ (兼任/専任の区分および1名/2～5名/6～9名/10名以上の人員数区分にて尋ねている)

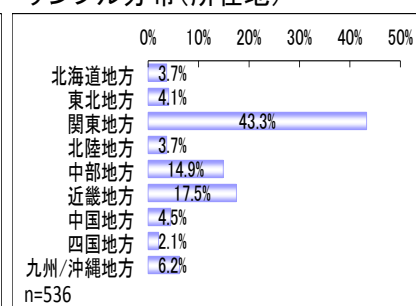
**ビジネス拠点状況区分:** オフィス/営業所/工場などの拠点がいくつあるか、拠点におけるIT管理/運用の状況はどうなっているか？ (1ヶ所/2～5ヶ所/6ヶ所の拠点数区分および「拠点毎の個別管理」「全拠点を統一管理」の管理状況区分にて尋ねている)

調査実施時期: 2015年4月

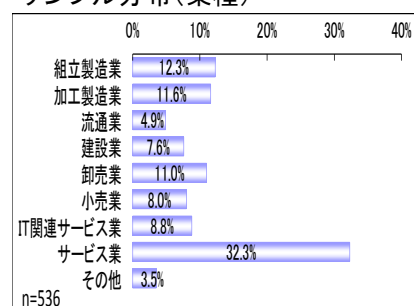
サンプル分布(従業員数)



サンプル分布(所在地)



サンプル分布(業種)



## 設問項目(1/4)

2015年版のサーバ関連レポートとしては、以下の3つが刊行されている。本レポートは以下の3つの中の(※)にあたる。  
「2015年版 中堅・中小企業におけるサーバ/IaaS選定の実態と展望レポート」(※)  
「2015年版 中堅・中小企業におけるサーバ仮想化活用の実態と展望レポート」  
「2015年版 中堅・中小企業におけるサーバ導入/保守の実態と展望レポート」  
これら3つのレポートの設問項目は3つ全てに共通する「共通設問」と個々のレポートのみに含まれる「個別設問」に大きく分けられる。以下では「共通設問」と「個別設問」のそれぞれについて、設問内容を列記している。

設問はいずれも与えられた選択肢から該当するものを選ぶ選択式となっている。とくに記載がない場合は選択肢を一つのみ選ぶ「単一回答設問」である。一方、設問文の末尾に「いくつでも」「3つまで」といった指定がある場合には「複数回答設問」となる。

### [共通設問(S系列)]

#### S1.サーバやストレージの導入/管理に関する役割(いくつでも)

以下の役割のどれに当てはまるかを尋ね、役割によってサーバ導入/管理に対する考え方がどう異なるか？を集計/分析する際に用いられる設問である。選択肢は以下の通りである。

- ・最終的な決済判断を下す権限を持っている
- ・全体の予算管理や計画立案を担っている
- ・導入時の情報収集や選定を担っている
- ・管理/運用の実作業を担当している

#### S2-1.今後一年以内におけるサーバ導入/更新の事案(いくつでも)

今後一年以内にサーバの「新規導入」または「刷新/更新」があるか？それは以下のいずれの形態に当てはまるか？を尋ね、サーバH/Wの購入とクラウド利用のどちらが今後は多くなっていくのかを把握するための設問である。

選択肢は以下の通りである。

- ・サーバH/Wをサーバルームに設置
- ・サーバH/Wを一般オフィスに設置
- ・サーバH/Wの設置場所としてハウジングを利用
- ・サーバH/Wは購入せずにホスティング(共用サーバ)を利用
- ・サーバH/Wは購入せずにホスティング(VPS)を利用
- ・サーバH/Wは購入せずにホスティング(専用サーバ)を利用
- ・サーバH/Wは購入せずにIaaS(仮想マシン)を利用
- ・サーバH/Wは購入せずにIaaS(ベアメタル)を利用

本設問には「新規導入」と「刷新/更新」の区分で分けた[S2-1A]と設置形態で分けた[S2-1B]の派生設問がある。

#### S2-2.最も重要度の高いサーバ導入/更新の事案

設問[S2-1]で回答したもののうち、最も重要度の高い事案を1つ選ぶ設問である。以降のS系列設問ではここで回答したサーバ導入/更新の事案についての詳細を尋ねている。本設問には「新規導入」と「刷新/更新」の区分で分けた[S2-2A]と設置形態で分けた[S2-2B]の派生設問がある。

#### S3-1.新規導入または刷新/更新するサーバの用途(いくつでも)

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新におけるサーバの用途を尋ねる設問である。仮想化などにより単一のサーバ内で複数の業務システムを稼働させる場合は該当する用途を全て選択する。選択肢は以下の通りである。

- ・基幹系業務システム(人事/給与、購買/販売、会計、生産/調達、物流/在庫など)
- ・分析/出力系システム(DWH、BI、レポートینگ、帳票など)
- ・情報共有システム(メール、グループウェア、ブログ、SNSなど)
- ・営業/顧客管理系システム(SFA、CRM、コンタクトセンタなど)
- ・基本情報インフラ(セキュリティ、ファイアウォール、バックアップ、DNSなど)
- ・部門内利用(ファイル共有、プリンタ共有)
- ・データベース利用(OracleやSQLServerを稼働させるサーバ)
- ・社外情報システム(ECサイト、EDIシステムなど)
- ・認証管理システム(Active DirectoryやOpenLDAPを稼働させるサーバ)
- ・簡易作成されたアプリケーション(何らかのツールやサービスを使ってプログラミングを伴わずに作成したアプリケーション)
- ・その他

### S3-2.新規導入または刷新/更新するサーバのOS(いくつでも)

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新におけるサーバのOSを尋ねる設問である。仮想化などにより単一のサーバ内で複数のOSを稼働させる場合は該当するOSを全て選択する。選択肢は以下の通りである。項目数が多いため各選択肢を「/」で区切って横並びで表記する。

<<Windows系>>

Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 / その他のWindows系OS

<<Linux系>>

Red Hat Enterprise Linux / Oracle Linux / Scientific Linux / CentOS / Fedora / Ubuntu / Debian / SUSE Linux Enterprise Turbolinux / Gentoo Linux / その他のLinux系OS

<<Unix系>>

Solaris / HP-UX / AIX / FreeBSD / その他のUNIX系OS

<<その他>>

オフコン用OS (NECのAV-X、富士通のASP、日本IBMのIBM i (旧: OS/400) など)

メインフレーム用OS (NECのACOS、富士通のOSIV、日本IBMのz/OS など)

その他のOS

### S3-3.新規導入または刷新/更新するサーバの筐体

今後のサーバ導入/更新においてサーバH/Wを購入する形態を予定しているユーザ企業に対し、その筐体を尋ねる設問である。選択肢は以下の通りである。ここでの「サーバノード」とはCPUやメモリを備え、サーバH/Wとしての機能を果たすことのできるモジュールを指す。

・タワー型:

オフィス内に設置されることが多く、縦置きを基本とする形態

例) NEC Express 5800 Tシリーズ、FUJITSU PRIMERGY TXシリーズ

・ラック型:

平板な形状が多く、ラックに収納して利用される形態

例) NEC Express 5800 Rシリーズ、FUJITSU PRIMERGY RXシリーズ

・ブレード型:

一つの筐体内にサーバノードを複数収納し、統合的に管理できる形態

例) HP BladeSystem、DELL PowerEdge Mシリーズ、NEC SIGMABLADE、FUJITSU PRIMERGY BXシリーズ、IBM BladeCenter

・モジュラー型:

一つの筐体内に多種多様なサーバノードを収納できる形態(ブレードよりもノード間の統合度は緩い)

例) HP Proliant SLシリーズ、DELL PowerEdge FXシリーズ/Cシリーズ、IBM NextScale System

・カートリッジ型:

一つの筐体内に非常に多くの小型サーバノードを格納できる形態

例) HP Moonshot

・垂直統合型:

一つの筐体内にサーバノードだけでなく、ストレージやネットワーク機器も統合した形態

例) DELL PowerEdge VRTX

・筐体は不明

・その他

### S3-4.新規導入または刷新/更新するサーバのメモリ容量

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新におけるサーバのOSを尋ねる設問である。IaaSやホスティングを利用しており、メモリ容量が変動する場合には1か月間の平均的な値を回答する。

### S3-5.新規導入または刷新/更新するサーバの合計CPUコア数

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新におけるサーバのCPUコア数を尋ねる設問である。例えば、2コアのCPUを2つ搭載しているサーバH/Wの場合、合計コア数は $2 \times 2 = 4$ となる。IaaSやホスティングを利用しており、「仮想CPU (vCPU)」でCPU数がカウントされる場合は『1つの仮想CPU=CPUコア数1つ分』に換算して回答する。

次頁へ続く

[個別設問]

**C1-1.新規導入または刷新/更新するサーバのメーカーまたはクラウド事業者**

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新におけるサーバのメーカー(サーバH/Wを購入する場合)またはクラウド事業者(サーバH/Wを購入しない場合)を尋ねる設問である。選択肢は以下の通りとなる。メーカーとクラウド事業者の双方の役割を担う場合にはそれぞれ選択肢を分けてある。

**【メーカー(サーバH/Wを購入する場合)】**

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| ・NEC(メーカーとして)   | 機種名) Express 5800シリーズ   |
| ・富士通(メーカーとして)   | 機種名) PRIMERGYシリーズ       |
| ・レノボ(LESを含む)    | 機種名) System xシリーズ       |
| ・日本HP(メーカーとして)  | 機種名) Proliantシリーズ       |
| ・デル             | 機種名) PowerEdgeシリーズ      |
| ・日立製作所(メーカーとして) | 機種名) HA8000シリーズ         |
| ・東芝             | 機種名) MAGNIAシリーズ         |
| ・日本オラクル         | 機種名) SPARCシリーズ, Sunシリーズ |
| ・その他のメーカー       |                         |

**【クラウド事業者(サーバH/Wを購入しない場合)】**

<<IaaS主体のクラウド事業者>>

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| ・アマゾンデータサービスジャパン | サービス名) Amazon EC2など          |
| ・日本マイクロソフト       | サービス名) Microsoft Azure       |
| ・日本IBM           | サービス名) SoftLayerなど           |
| ・グーグル            | サービス名) Google Compute Engine |
| ・ニフティ            | サービス名) ニフティクラウド              |
| ・ビットアイル          | サービス名) ビットアイルクラウドなど          |
| ・IIJ             | サービス名) IIJ GIOなど             |

<<ホスティング主体のクラウド事業者>>

- |                     |  |
|---------------------|--|
| ・GMOインターネット(関連会社含む) | サービス名) GMOクラウド、WADAX、お名前.com、ロリポップ! など |
| ・さくらインターネット         | サービス名) さくらのクラウド/マネージドサーバ/VPS/専用サーバなど   |
| ・BIGLOBE            | サービス名) BIGLOBEクラウドホスティングなど             |
| ・エックスサーバ            | サービス名) XSERVERなど                       |
| ・カゴヤ・ジャパン           | サービス名) マネージドクラウド for WEBなど             |
| ・ネクシオンサーバ           | サービス名) JSN(Just-size.networks)など       |
| ・テコラス(旧: データホテル)    | サービス名) フルマネージドホスティングなど                 |
| ・使えるねっと             | サービス名) 使えるクラウドなど                       |
| ・ファーストサーバ           | サービス名) Z Cloud、Zenlogicなど              |

<<メーカーを兼ねているクラウド事業者>>

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| ・NEC(クラウド事業者として)   | サービス名) NEC Cloud IaaS       |
| ・富士通(クラウド事業者として)   | サービス名) FUJITSU Cloud IaaSなど |
| ・日本HP(クラウド事業者として)  | サービス名) HP Helionなど          |
| ・日立製作所(クラウド事業者として) | サービス名) プラットフォームリソース提供サービスなど |

<<キャリア系のクラウド事業者>>

- |                   |   |
|-------------------|---|
| ・NTTコミュニケーションズ    | サービス名) Bizホスティング、Cloudnなど               |
| ・NTT東日本、NTT西日本    | サービス名) Bizひかりクラウドなど                     |
| ・NTT PCコミュニケーションズ | サービス名) WebARENA、Biz-ageraなど             |
| ・NTTコムウェア         | サービス名) SmartCloudなど                     |
| ・ソフトバンクテレコム       | サービス名) VMware vCloud Air(旧: ホワイトクラウド)など |
| ・KDDI(関連会社含む)     | サービス名) KDDIクラウドプラットフォームサービス、CPIなど       |
| ・IDCFロンティア        | サービス名) IDCFクラウドなど                       |

<<SIerを兼ねているクラウド事業者>>

- |                      |  |
|----------------------|--|
| ・NTTデータ              | サービス名) BizXaaSなど                         |
| ・新日鉄住金ソリューションズ       | サービス名) absonneなど                         |
| ・電通国際情報サービス          | サービス名) CLOUDiSなど                         |
| ・伊藤忠テクノソリューションズ(CTC) | サービス名) TechnoCUVICなど                     |
| ・日立システムズ             | サービス名) リソースオンデマンドサービスなど                  |
| ・富士通マーケティング          | サービス名) AZCLOUD IaaSなど                    |
| ・TIS                 | サービス名) TIS Enterprise Ondemand Serviceなど |
| ・インテック               | サービス名) EINS/SPSなど                        |
| ・その他のクラウド事業者         |  |

本設問には「メーカー」と「クラウド事業者」の区分にまとめた[C1-1A]と主要な選択肢に限定した[C1-1B]の派生設問がある。

### C1-2. メーカーまたはクラウド事業者の選定状況

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新において、メーカーやクラウド事業者を新たに選定したのか、それとも既存のメーカーなどを継続して選んでいるのかなどを尋ねた設問である。選択肢は以下の通りである。

#### 【サーバH/Wを購入する場合】

- ・従来のサーバH/Wメーカーから他のメーカーに変更しており、今後も変更後のメーカーを選ぶ
- ・従来のサーバH/Wメーカーから他のメーカーに変更したが、あくまで限定的な変更である
- ・従来のサーバH/Wメーカーから変更しておらず、今後も同じメーカーを選ぶ
- ・従来のサーバH/Wメーカーから変更していないが、今後は他のメーカーを検討する
- ・従来のサーバH/Wメーカーから変更していないが、今後はIaaS/ホスティングを検討する

#### 【IaaS/ホスティングを利用する場合】

- ・サーバH/Wを購入する形態からIaaS/ハウジングに変更しており、今後も同様の変更を行う
- ・サーバH/Wを購入する形態からIaaS/ハウジングに変更したが、あくまで限定的な変更である
- ・サーバH/Wを購入する形態からIaaS/ハウジングに変更したが、今後はサーバH/W購入に戻る
- ・従来のIaaS/ハウジングから他のIaaS/ハウジングに変更しており、今後も同様の変更を行う
- ・従来のIaaS/ハウジングから他のIaaS/ハウジングに変更したが、あくまで限定的な変更である
- ・従来のIaaS/ハウジングから変更しておらず、今後も同じクラウド事業者を選ぶ
- ・従来のIaaS/ハウジングから変更していないが、今後は他のクラウド事業者を検討する
- ・従来のIaaS/ハウジングから変更していないが、今後はサーバH/W購入に戻る

### C1-3. メーカーまたはクラウド事業者の選定理由(いくつでも)

設問[S2-2]で選んだサーバ導入/更新において、該当するメーカーやクラウド事業者を選定した理由を尋ねた設問である。「導入費用が高すぎる」「機能要件を満たせない」などの変更理由や「作業負担が大きい」「販社/SIerが反対している」などによる現状維持の理由など、12項目に渡るメーカー/クラウド事業者の選定理由を網羅している。

### C2. IaaS/ホスティングの活用を阻害する要因(いくつでも)

IaaSやホスティングを活用しようとした場合に障壁となりうる事柄を尋ねた設問である。選択肢は以下の通りである。

#### <<費用に関連する項目>>

- ・サーバH/Wを購入した方が導入費用が安く済む
- ・サーバH/Wを購入した方が運用費用が安く済む
- ・導入/運用にかかる費用を事前に試算できない
- ・既存システムの移行に要する費用負担が大きい

#### <<管理/運用に関連する項目>>

- ・従来のサーバ管理/運用の手法が適用できなくなる
- ・管理/運用を担う社内人材の仕事がなくなってしまう
- ・社内に存在する他システムとの連携ができなくなる
- ・既存システムを移行するための方法がわからない
- ・システム構成の個別カスタマイズができなくなる
- ・自社を訪問する保守サポートがなくなってしまう

#### <<サービス内容に関連する項目>>

- ・メニューが複雑でどれを選べば良いかわからない
- ・障害や事故によってデータが消失しないか不安
- ・解約や他サービスへの変更が行いづらい
- ・サーバ環境を自社に戻すことが難しくなる
- ・システムの所在地が自社で把握できない
- ・サーバの詳細な稼動状況が把握できない
- ・トラブルが発生した時の原因が掴めない

#### <<自社の基本方針に関連する項目>>

- ・セキュリティ面の事情から業務システムを社外に設置できない
- ・個人情報保護の事情から業務システムを社外に設置できない
- ・法的な措置によってサービスが利用できなくなる恐れがある
- ・特に制約はないが、サーバを社外には出さない方針である

#### <<その他>>

- ・世話になっている販社SIerが推奨しない
- ・サーバH/Wメーカーの営業が推奨しない

本レポートの「分析サマリ」では21ページに渡り、中堅・中小企業におけるサーバ/IaaS選定の重要ポイントなどを調査データを交えて解説しています。以下のレポート試読版では「分析サマリ」の一部を紹介しています。

## 2015年版 中堅・中小企業におけるサーバ/IaaS選定の実態と展望レポート 分析サマリ

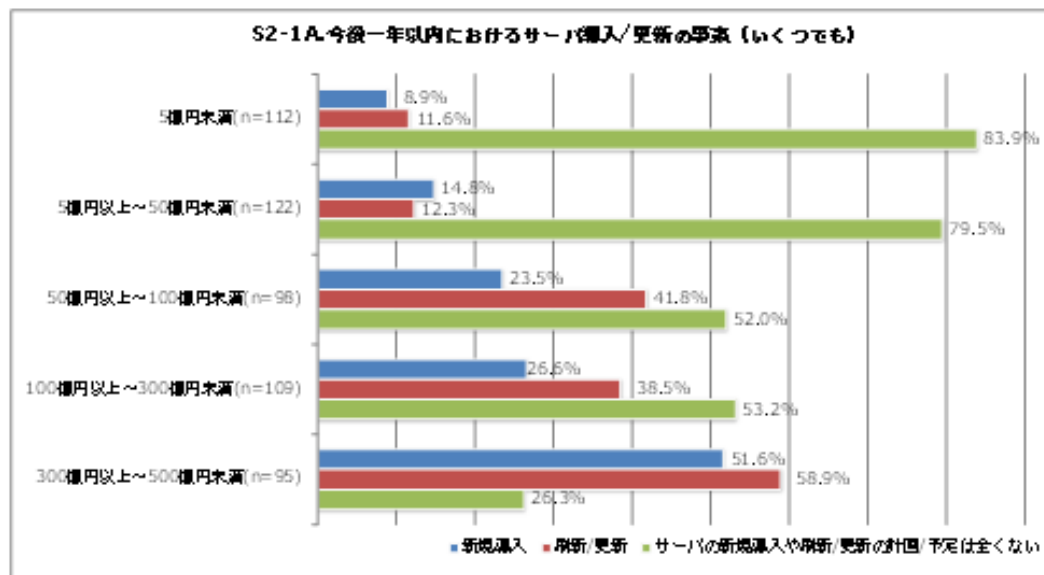
本レポートは中堅・中小企業を対象として実施したサーバ/IaaS選定に関する調査結果をまとめたものである。

このドキュメントでは本レポートの集計データのうち、重要なポイントに関する分析の詳細について述べている。

### 1. S系列設問(サーバ導入/更新の動向)における重要ポイント

#### [今後一年以内におけるサーバ導入/更新の事案]

以下のグラフは「S2-1A. 今後一年以内におけるサーバ導入/更新の事案(いくつでも)」の結果を経緯別(「新規導入」か「刷新/更新」か)および年商別に集計したものである。



まず、ここでの「サーバ」とはサーバハードウェアを購入して社内に設置する形態(オンプレミス)とクラウド(IaaS)形態の双方を指す点に注意する必要がある。(本レポートで用いる用語の定義などについては「本レポートの概要(はじめにお読みください).pdf」を参照)つまり、上記のグラフはオンプレミスとクラウドの双方を含めた場合の「サーバ」導入/更新に関する今後の意向(今後一年間の予定)を尋ねた結果ということになる。

以下、省略

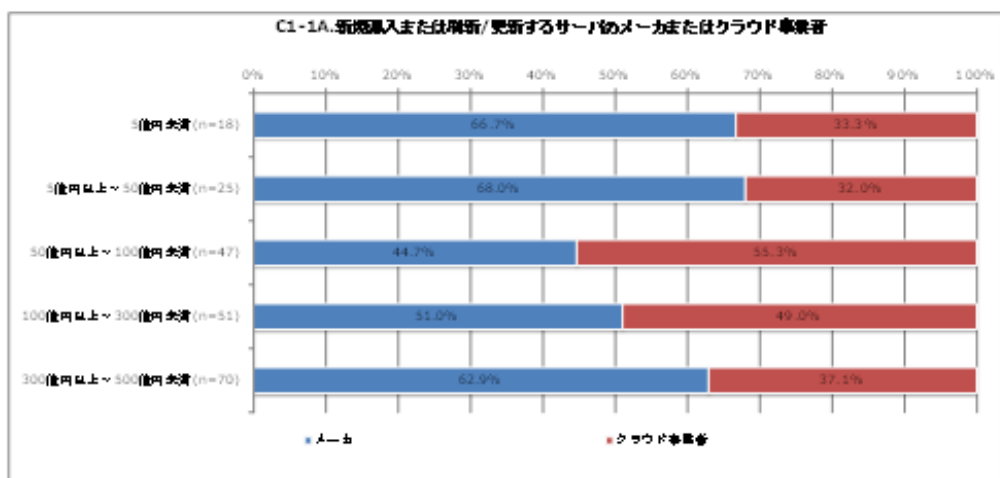
本レポートでは中堅・中小企業において、オンプレミス環境(サーバを購入し、自社内やデータセンタ内に設置する形態)からクラウド環境(IaaSやホスティングといったサーバを購入しない形態)への遷移がどれくらい進んでいるのか?に焦点を当てています。オンプレミスとクラウドの双方を含めた広義の「サーバ」という視点から、メーカーとクラウド事業者が今後のサーバ導入に占める割合やクラウド移行への課題など、様々な観点から集計/分析を行っています。

## 2. C系列設問 (IaaSの活用動向) における重要ポイント

以下では今後一年以内に新規導入または刷新/更新する最も重要なサーバに関する詳細を尋ねることによって、「クラウド (IaaS) 形態の活用がどれくらい進んでいるのか?」などの点について分析を行っている。

### 【メーカーとクラウド事業者の割合】

以下のグラフは「C1-1A.新規導入または刷新/更新するサーバのメーカーまたはクラウド事業者」を尋ねた結果を年商別に集計したものである。



年商 5 億円未満の小規模企業クラスと年商 5~50 億円の中小企業クラスでは「メーカー」の割合が 7 割弱に達しており、年商 50~500 億円未満の中堅企業クラスと傾向が異なることがわかる。また、中堅企業クラスの中では年商 50~100 億円未満の中堅 L クラスにおいて「クラウド事業者」の割合が最も高く、年商 100~300 億円の中堅 M クラス、年商 300~500 億円未満の中堅 H クラスといったように年商規模が大きくなるにつれて、「クラウド事業者」の割合は低くなっていく。ただし、この結果は単に「中堅企業の中でも年商規模の比較的小さな企業においてクラウド活用意向が高い」ことを意味するわけではない点に注意する必要がある。

以下のグラフは「S2-2B.最も重要度の高いサーバ導入/更新の事案」を尋ねた結果を年商別に集計したものである。つまり、今後一年以内に新規導入または刷新/更新する最も重要なサーバの形態を表す結果となる。

以下、省略

# レポート試読版3(「主要分析軸集計データ」)

「設問項目」に掲載した設問結果を年商、業種、従業員数、所在地といった基本属性を軸として集計したものは「主要分析軸集計データ」と呼ばれ、Microsoft Excel形式で同梱されています。以下の試読版に掲載したものは「業種」を集計軸として、C系列設問の各設問項目を集計したものです。

画面の左上部に記載されたファイル名は『[C系列]([A3]表側).xls』となっています。[C系列]は本レポート案内4~5ページに記載されているように「今後一年以内に新規導入または刷新/更新する最も重要なサーバに関する詳細を尋ねることによって、クラウド(IaaS)形態の活用はどれくらい進んでいるのか?を明らかにする設問群を表します。一方で、[A3]は基本属性の3番目である業種を表しています。このようにファイル名を見れば、「どの設問について、何を軸として集計したものか?」がすぐわかるようになっています。

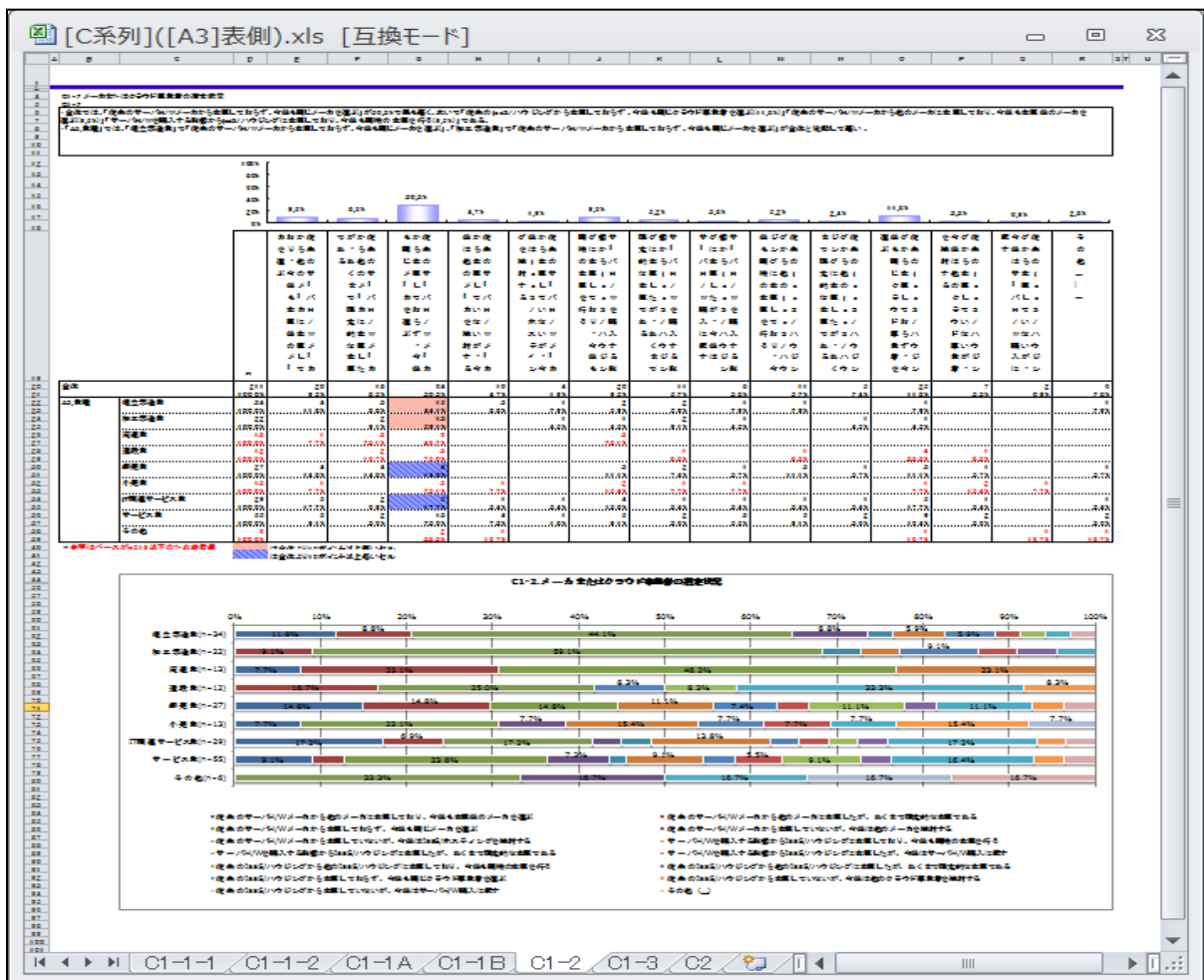
画面の最下部からは複数のシートがあることがわかります。この1シートが1つの設問結果データに相当します。[C系列]には全部で6つの設問があり、主要分析軸となる属性は年商/職責/業種/従業員数/所在地/IT管理体制/ビジネス拠点状況の7項目ありますので、[C系列]のみに限った場合でも主要分析軸集計データのシートは6×7=42シートあることとなります。(本レポート全体での主要分析軸集計データのシート数は約130に及びます)

個々のシートには画面上部に軸を設定しない状態の縦帯グラフ、画面中央には年商や業種といった属性軸を設定して集計した結果の数表データ、画面下部にはその数表データを横帯グラフで表したものが掲載されるという書式になっています。

こうした「主要分析軸集計データ」を見れば、

- 「年商規模によって、クラウド形態への移行状況にどのような違いがあるか?を知りたい」
- 「オンプレミスとクラウドのそれぞれで、どのようなメーカーや業者が優勢か?を知りたい」
- 「クラウド移行を阻む障壁には業種、所在地などによって傾向差があるか?を知りたい」

などといったことを客観的な見地から数量的に確認することができます。ただし、「年商5億円以上~50億円未満かつ組立製造業」など、2つ以上の属性を掛け合わせたものを軸とした集計結果については本レポートの標準には含まれません。





# レポート試読版4(「質問間クロス集計データ」)

「設問項目」に掲載した設問結果を他の設問結果を軸として集計したものが、「質問間クロス集計データ」です。主要分析軸集計データと同様にMicrosoft Excel形式で同梱されています。

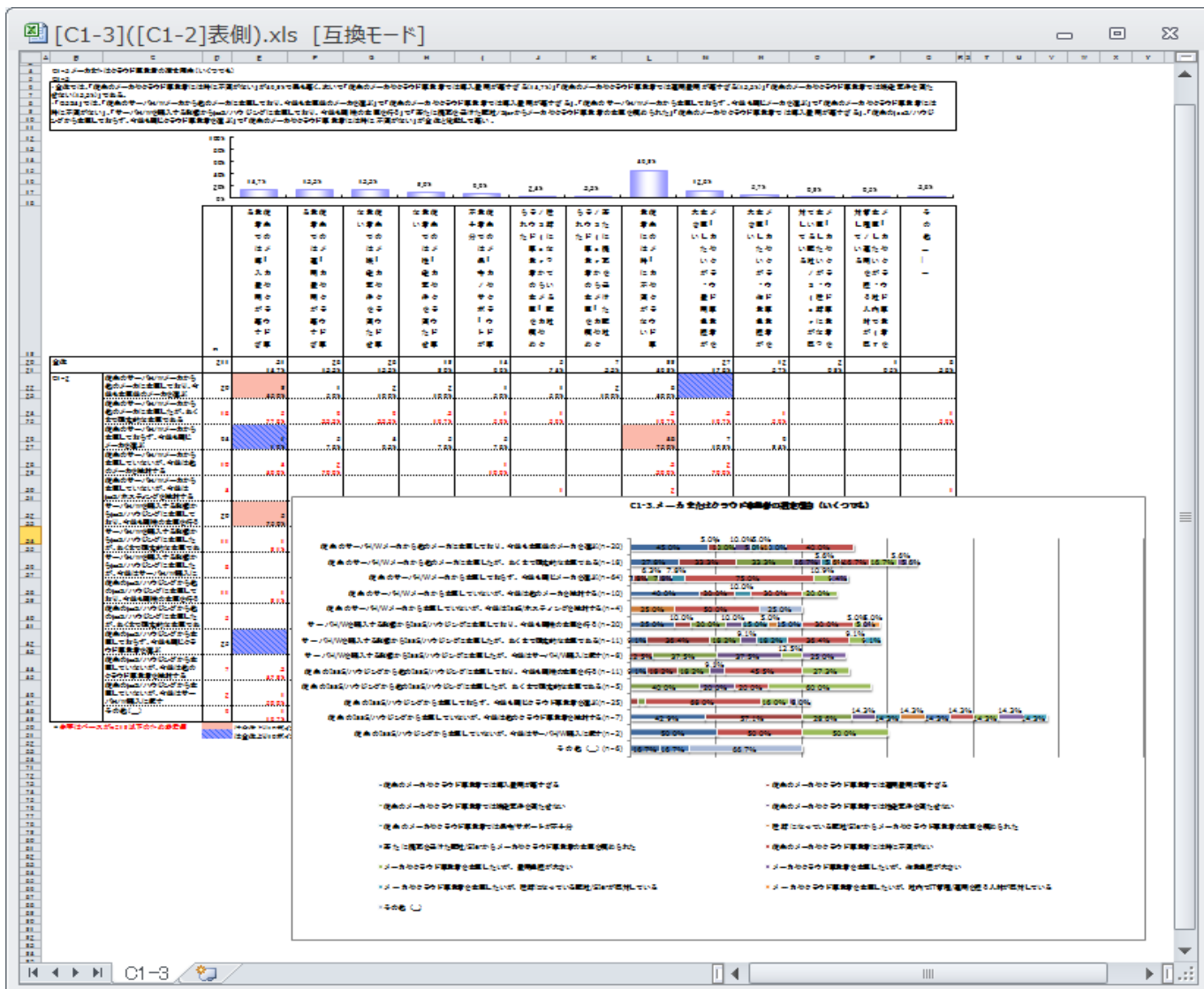
以下の試読版に掲載されているのは、設問C1-2(メーカまたはクラウド事業者の選定状況)と設問C1-3(メーカまたはクラウド事業者の選定理由)の関連を知るための質問間クロス集計データの例です。

中堅・中小企業がクラウド移行へ取り組む際、「以前からサーバを購入していたメーカやその系列の販社/Slerを選ぶのか、それとも新たにクラウド事業者や新規の販社/Slerと契約するのか?」は今後サーバ活用を提案する側にとって非常に重要なポイントとなってきます。

そのためには設問C1-2の選択肢毎に設問C1-3を回答結果を集計したデータを確認するのが有効です。そのようにして、集計した結果が以下となります。画面の左上部に記載されたファイル名は『[C1-3]([C1-2]表側).xls』となっています。このファイル名は設問C1-2を軸としてC1-3の結果を集計したものであることを表しています。(以下の画面ショットではスペースの都合で数表とグラフを重ね合わせて表示していますが、実際には両者が縦に並んで配置されています)

このように本レポート内には複数の設問同士を互いに集計した結果が数多く含まれ、それらを見ることによってオンプレミスからクラウドへの移行を踏まえたサーバ活用提案のポイントに関する様々な知見を得ることができます。

個々のシートには画面上部に軸を設定しない状態の縦帯グラフ、画面中央には特定の設問を軸として設定した集計結果の数表データ、画面下部にはその数表データを横帯グラフで表したものが掲載されるといった書式になっています。



## 本レポートの価格とご購入のご案内

【価格】180,000円(税別)

【媒体】CD-ROM(分析サマリ: PDF形式、集計データ: Microsoft Excel形式)

【発刊日】2015年7月21日

下記より本レポートのダイジェスト(サンプル)をご覧ください

[http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server\\_usr\\_rel1.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server_usr_rel1.pdf)

お申込み方法:

ホームページ(<http://www.norkresearch.co.jp>)から、または[inform@norkresearch.co.jp](mailto:inform@norkresearch.co.jp)宛にメールにてご連絡ください

## その他のレポート最新刊のご案内

### 「2015年版 中堅・中小企業におけるIT投資の実態と展望レポート」

クラウドやスマートデバイスといった新たな潮流を受けて、中堅・中小企業のIT投資はどのように変わっていくのか？

レポート案内: [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rep.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rep.pdf)

ダイジェスト(サンプル):

ビッグデータ /ウェアラブル等の投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel1.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel1.pdf)

基幹系システムの投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel2.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel2.pdf)

情報系・顧客管理系システムの投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel3.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel3.pdf)

運用管理系システムの投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel4.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel4.pdf)

スマートデバイス関連の投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel5.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel5.pdf)

PC関連の投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel6.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel6.pdf)

ネットワーク関連の投資動向 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT\\_usr\\_rel7.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015IT_usr_rel7.pdf)

価格: 180,000円(税別)

### 「2015年版 中堅・中小企業におけるストレージ環境の実態と展望レポート」

業務システムにおけるサーバ接続ストレージ、ファイルサーバ、オンラインストレージサービスの動向を全て網羅

レポート案内: [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015storage\\_usr\\_rep.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015storage_usr_rep.pdf)

ダイジェスト(サンプル): [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015storage\\_usr\\_rel1.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015storage_usr_rel1.pdf)

価格: 180,000円(税別)

### サーバ関連姉妹編レポート 各冊180,000円(税別)

以下の姉妹編レポートと本レポートを2冊同時購入の場合は240,000円(税別)、

3冊同時購入の場合は380,000円(税別)

### 「2015年版 中堅・中小におけるサーバ仮想化活用の実態と展望レポート」

中堅・中小企業におけるサーバ仮想化活用をさらに進めるために必要となる次の一手とは何か？

レポート案内: [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server\\_usr\\_rep2.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server_usr_rep2.pdf)

ダイジェスト(サンプル): [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server\\_usr\\_rel2.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server_usr_rel2.pdf)

### 「2015年版 中堅・中小におけるサーバ導入/保守の実態と展望レポート」

中堅・中小企業はサーバの調達先をどのように選定するのか？導入/運用における作業は誰が担っているのか？

レポート案内: [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server\\_usr\\_rep3.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server_usr_rep3.pdf)

ダイジェスト(サンプル): [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server\\_usr\\_rel3.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2015server_usr_rel3.pdf)

本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

本ドキュメントに関するお問い合わせ

**NORKRESEARCH**

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高

東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705

TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692

[inform@norkresearch.co.jp](mailto:inform@norkresearch.co.jp)

[www.norkresearch.co.jp](http://www.norkresearch.co.jp)